

なつかしの学校給食

1月24日～30日は「学校給食週間」です。

明治22年に山形県(現、鶴岡市)でお弁当を持ってくることができない子ども達におにぎりと簡単なおかずを出したのが始まりですが、戦争で一時中断。戦後の食糧不足から子ども達を救済することを目的に再開された学校給食。その日を記念して学校給食週間が作られました。

時代と共に学校給食も大きく様変わりしています。アルマイトの食器から磁器食器に、また牛乳びんから牛乳パックに、コッペパンからごはん給食などなど。最近では「ランチルーム」と言われる食堂でバイキング給食やホテルのシェフによる学校給食もあります。

学校給食で初めて食べたもの、好きになったもの、逆に嫌いになったものなど誰しも何か思い出があるのではないのでしょうか。たまには子どもの頃の給食の思い出に浸ってみてください。

